

科目名	博物館経営論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 和浩		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]

ミュージアムマネジメントの方法と目的、背景となる制度について知り、現状の運営実態とその課題を理解する。現代社会における博物館の存在意義を経済的側面のみならず、教育・福祉・社会的課題など、多様な側面からの視点を持ち、課題解決について考える能力を身に付けることを目標とする。

[授業概要]

現役の学芸員である教員が、現場の視点から博物館を取り巻く課題と新しい取り組みを紹介しながら、博物館経営の目的と意義を考えていく。博物館特有の運営体制やマーケティング、広報戦略と情報発信の意義を理解し、博物館を経済社会の中に位置付けるとともに、その存在意義と提供すべきサービスを考える。利用者ニーズの多様性に対応し、現代的課題に向き合い・解決するビジョンを共有するとともに、新しい博物館像について先行事例を踏まえた実践的な検討を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]

教科書の該当ページを読んで予習をしておくこと。新聞やインターネット等を通してたえず文化教育一般、博物館関係の記事のサーチにつとめ、その論評をこころがけること。博物館を訪れ、来館者や地域に向けた取り組みや情報発信について検討・考察する視点で見学すること。

[授業計画]

1. ガイダンス、博物館経営の意義
2. 博物館の制度と組織(1)評価
3. 博物館の制度と組織(2)運営体制
4. 博物館施設の運営と管理
5. 学外研修
6. 学外研修 ※博物館の現場を見学し、展示手法のほか、保存・研究・教育など全般にわたる博物館活動を知る。見学先は特色ある博物館とし、開講時に日程等を示す(2025年10月後半の日曜日を予定)。
7. ワークショップ「博物館の経営分析」
8. 博物館と社会連携(1)博物館の広報活動
9. 博物館と社会連携(2)博物館の学習支援
10. 博物館と社会連携(3)博物館のネットワーク活動
11. 博物館経営の実際と課題(1)博物館の経済効果
12. 博物館経営の実際と課題(2)現代的課題と博物館
13. まとめ

科目名	博物館経営論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	福田 和浩		
[成績評価方法] 各授業の課題とワークショップ(60%)、最終課題レポート(40%) [課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 各授業の課題やワークショップについては、翌週の授業の中で講評を加えることがある。 [オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 [この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)] 学科DP番号／DP内容:史学2-1／講義や演習を幅広く受講することにより、正確な知識と論理的な思考力を身につけ、様々な問題をその歴史的背景に照らして客観的に考察する能力を有している。 成績評価方法:各授業の課題とワークショップ(60%)、最終課題レポート(40%) 学科DP番号／DP内容:史学2-5／演習の研究発表ならびに授業のレポートや卒業論文の作成を通じて、正確で論理的な思考力と、口頭と文章による的確な表現力を有している。 成績評価方法:各授業の課題とワークショップ(60%)、最終課題レポート(40%) [この授業と関連する大学全体の教育目標] 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢 成績評価方法:各授業の課題とワークショップ(60%)、最終課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:各授業の課題とワークショップ(60%)、最終課題レポート(40%) 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:各授業の課題とワークショップ(60%)、最終課題レポート(40%) [教科書(ISBN)] 書籍名:新時代の博物館学 著者名:全国大学博物館学講座協議会西日本部会／編 出版社名:芙蓉書房出版 ISBN:9784829505519 書籍名:適宜プリントを配布する 著者名: 出版社名: ISBN: [参考書(ISBN)]			